

地 域 医 療 連 携 室 だ よ り

ひまわり

地域医療支援病院

独立行政法人地域
医療機能推進機構

vol 47

宮崎江南病院
院長 白尾 一定

INFORMATION

地域包括ケア病棟の増床案内

GUIDANCE

センター化のお知らせ
リハビリテーションセンター
手外科・創傷センター
腎センター

[連載]

地域医療を ささえる

症例検討会のご案内
新任医師紹介
認定看護師のご紹介

理 念

私たちは、医療人としての奉仕の精神と和の心を大切にし地域に信頼される病院として医療・介護・福祉に貢献します。

キャッチフレーズ

安心な医療で地域の笑顔を支える宮崎江南病院

ふくどめ耳鼻咽喉科クリニック

地域医療をささえる

ふくどめ耳鼻咽喉科クリニック

平成27年9月、野村循環器内科と江南まつもと整形外科の間に耳鼻咽喉科を開院致しました。実家はコスモスの裏にあり、まさに生まれ育った地元で開業させて頂きました。近年、医療施設の増加が著しいこの地域で、耳鼻咽喉科として貢献できればと思っています。江南病院にも大変お世話になっており、鼻骨骨折や耳介の病変、耳瘻孔などで形成外科に紹介させて頂いたり、耳漏のある入院患者を紹介させて頂いたりしています。先日は摂食困難な扁桃炎(EBウイルス感染)の患者さんを入院・点滴治療頂きました。これからも病診連携として、こちらがお世話になることが多いと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

耳鼻咽喉科として、どのように貢献できるかを考えてみました。耳漏の止まらない患者さんや、鼻出血の止まらない患者さんはもちろん、めまいや咽喉頭病変、アレルギー性鼻炎に対する舌下免疫療法なども行っています。めまいの多くは内耳に起因することが多いので、浮遊耳石置換法や点滴・内服治療、リハビリ指導などを行っています。嗄声や嚥下困難が持続する患者さんには、腫瘍性病変や声帯ポリープ・結節などの診断のために、咽喉頭の内視鏡検査を行っています。スギ花粉症、ダニ(ハウスダスト)アレルギーの患者さんに対しては、近年注目されている舌下免疫療法も行っています。アレルゲンであるスギやダニのエキスを3～5年内服しなくてははいけませんが、8～9割の患者さんには効果がみられるとのことで、スギやハウスダストのアレルギーに悩んでいる多くの患者さんが治療を行っています。

その他にも、耳鳴の治療(内服、音響療法)、補聴器の装用、副鼻腔炎に対する鼻洗浄・上顎洞洗浄なども行っていますので、耳鼻咽喉科領域でお困りの患者さんがおられましたら、是非ご紹介頂けると幸いです。今後ともよろしくお願い致します。

院長 福留 真二

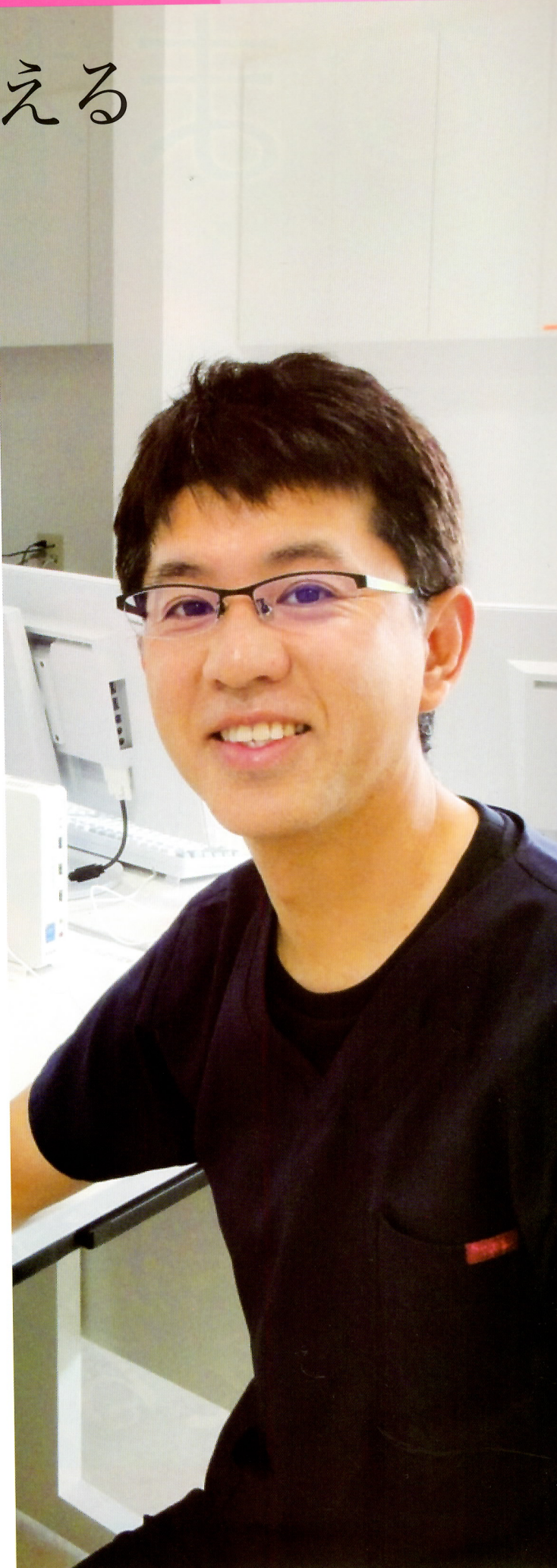
CLINIC
DATA

〒880-0924
宮崎市大字恒久5913番地1
TEL 0985-65-3387
FAX 0985-65-8733



診療時間	月	火	水	木	金	土
8:30	●	●	●	●	●	●
12:30	●	●	●	●	●	●
14:00	●	●	-	●	●	-
17:30	●	●	-	●	●	-

予約システム受付時間
8:30～12:00/14:00～17:00
休診：日曜日、水、土曜日午後



地域包括ケア病棟を拡大しました

平成28年7月1日より、当院の地域包括ケア病棟が20床から44床へ増床しました。

●地域包括ケア病棟とは

急性期の治療を終了した患者さまが、引き続き在宅復帰に向けて治療、看護、リハビリ等を行い、安心して退院していただけるように在宅支援を行うことを目的とした『在宅復帰支援のための病棟』です。



対象となる患者さま

- 1 急性期の入院治療(手術・肺炎・外傷など)により病状は改善したが、もう少し経過観察が必要な方
- 2 入院治療により症状が安定し、在宅復帰へ向けてリハビリテーションが必要な方
- 3 在宅での療養準備が必要な方

地域包括ケア病棟への入院から退院までの流れ

地域医療連携室へ入院申し込み

専用の情報提供書については、ホームページからダウンロードしていただくか、ご連絡いただければ用紙をお送りしますので、FAXにてお申込みください。

情報提供書による判定

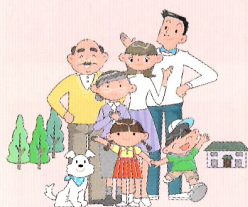
判定結果のご連絡

ご入院

治療開始

自宅、施設への退院援助

退院



一般病棟から地域包括ケア病棟への転院は自宅等退院として認められることとなっております(在宅復帰扱いになります)。状態が安定している方については、直接入院を検討させていただきます。地域医療連携室へぜひご相談ください。

【入院相談の窓口】

地域包括ケア病棟への入院相談は、地域医療連携室で承ります。お電話にてご相談ください。
JCHO宮崎江南病院:医療連携室 TEL.0985-52-4004 FAX.0985-51-1479
受付時間:平日 8:30~17:00(土、日、祝日休み)



センター化

のご案内



リハビリ



手外科



腎



リハビリテーションセンター紹介

病院部門

【理学療法士22名、作業療法士15名、言語聴覚士3名、事務員1名】



今年4月より「リハビリテーションセンター」を標榜し、地域のリハビリ中核病院としての決意を新たに再出発しました。総勢40名のセラピストが、整形外科疾患はもちろん、心臓、呼吸、がん、手外科、褥瘡、摂食嚥下等、専門的かつ満足度の高いリハビリを提供します。また、地域包括ケアシステムの一翼を担う職種として自覚を持ちながら、地域の医療・福祉機関と積極的に連携し、患者様の安心安全な退院後生活を目指していきます。

介護老人保健施設部門

【理学療法士5名、作業療法士3名、言語聴覚士兼務】

「在宅強化型老健」という在宅復帰に力を入れた施設であり、在宅復帰に向けて専門のリハビリを提供しています。入所後3ヶ月間は、ほぼ毎日リハビリを提供しており、リハビリに特化した老健施設です。認知症リハビリや在宅訪問指導、ご家族指導にも力を入れています。退所後も、通所リハビリや短期入所でのリハビリを行っており、切れ目なくリハビリ提供できる特徴もあります。退院後のリハビリは我々にお任せください!! ご紹介待っています。



訪問リハビリテーション部門

【理学療法士3名、作業療法士2名、言語聴覚士兼務】

実際にご利用様の生活する場に伺い、歩く練習や筋力をつける運動だけではなく、ご利用者自身のニーズに合わせて個別性の高いリハビリを提供することをモットーに日々取り組んでいます。今後も利用者様の笑顔をたくさん見られるよう精一杯頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。



昨年度より地域包括ケア推進のため、地域住民への介護予防体操の実施や、院外向けの研修会も開催しています。今年度からは、出前講座もおこなっておりますので、何かリハビリスタッフが力になれることがあれば、連絡をよろしくお願いします。今後も様々なニーズに応えられるよう、スタッフ一丸となって頑張っていきます!

Introduction

手外科創傷 センター



この4月より「手外科・創傷センター」を開設する運びとなりました。当院は宮崎県内において数少ない形成外科学会認定施設であり、2012年には手外科学会認定施設となりました。その為、形成外科的治療の必要な患者様が県内各地から受診されています。具体的な治療としては、労働災害や交通外傷による手足の外傷、顔面の外傷、様々な体表面の先天異常に対する治療を行っています。さらに、不幸にして失ってしまった体の一部を皮膚や血管、筋肉を移植することで再建する手術も行います。また、褥瘡(床ずれ)や糖尿病性壊疽をはじめとする治りにくい傷の治療に関しては新たに褥瘡・潰瘍外来を新設しました。褥瘡の予防の1つとして車いすシーティング、床上ポジショニング指導やケアをはじめ、潰瘍に関しては、難治性潰瘍の治療、必要な検査、装具や靴の調整など潰瘍の予防指導を当院WOCN(創傷・ストーマ・失禁管理の認定看護師)と共同して行います。本人、家族だけでなく、訪問看護師、施設、ケアマネジャーとの連携を図りながら、包括的な創傷管理ができるよう支援させていただきます。今後の「手外科・創傷センター」の活躍にご期待ください。



Introduction

腎センター



当院の腎センターは、常勤医師3名 非常勤医師6名 看護師27名 臨床工学技士10名 医師事務作業補助員1名で勤務しており、月水金2クール・火木土1クールで透析を行っています。患者数は、入院患者20～30名 外来患者130名ぐらいであり、約160名近くの患者を受け入れています。紹介患者は、県北・県央・県南・県西地区からあり、紹介率は80%を超えています。

入院患者は、透析導入やバスキュラーアクセストラブル・一般内科・外科合併症・骨折や下肢壊疽など整形外科や形成外科疾患の患者を受け入れています。透析室の透析患者監視装置は、プライミングから返血までを全自動化で行っています。また、オンラインHDFやI-HDFの治療も積極的に実施しています。2015年より多用途血液処理用装置を導入しており、CHDFや腹水濾過濃縮・DFPPなどのアフェレーシス治療も行っています。日々多くの患者を受け入れており、医師・看護師・臨床工学技士間の情報交換を密にするために週1回ケースカンファレンスを実施し、安心・安全な透析療法の提供に努めています。



第104回 江南医療連携の会 症例検討会

H28.6.9
実施

参加者総数 83名



臨床現場で役立つセミナーは、「認知症編」でした。

第105回 江南医療連携の会 症例検討会

H28.7.14
実施

参加者総数 88名



臨床現場で役立つセミナーは、「リハビリ編」でした。

新任医師紹介

NEW
FACE



外科 米盛 圭一 (よねもり けいいち)
戸田 洋子 (とだ ひろこ)



循環器内科 山本 紗子 (やまもと きぬこ)

認定看護師のご紹介



認定看護師が増えました!!
どうぞよろしくお願ひします

感染管理認定看護師 (Infection Control)

氏名: 田爪 絵梨子

所属: 2階東病棟

得意分野: 感染防止対策の実践・指導

今後の活動内容

- ・感染管理として病棟ラウンドの強化
- ・感染対策に関する教育や指導



糖尿病認定看護師 (Diabetes Nursing)

氏名: 二宮 久美

所属: 内科外来

得意分野: フットケア

今後の活動内容

- ・日常生活指導
- ・フットケア外来
- ・血糖コントロール指導



感染予防や糖尿病予防に関する指導、研修を通して地域に貢献できるよう活動していきます。
何かお困りのことがありましたら、いつでもご相談ください。

宮崎江南病院

宮崎市大坪西1-2-1 TEL.0985-51-7575 FAX.0985-53-8821
<http://miyazaki.jcho.go.jp>

地域医療連携室

TEL.0985-52-4004 FAX.0985-51-1479 (地域医療連携室直通)
E-mail: renkei@miyazaki.jcho.go.jp

室長 白尾 一定 担当 佐藤 貴代
作成: JCHO宮崎江南病院 広報委員会